

おうちで長編小説！

先の見えない「おうち時間」、時間があるときに……と後回しにしていた長編小説を読んで過ごしませんか。



◆『失われた時を求めて』 プルースト／作

20世紀を代表するあまりにも有名な長編小説……各出版社から複数の訳が出版されているので、自分に合った1冊をこの機会に探してみてもいかがでしょうか。



◆『大地』 パール・バック／作

清朝末期から1930年頃まで、激動の中国と、その中で大地に属して生きる家族を描く大河ドラマです。人物は丁寧に描かれているのに展開にはスピード感があり、翻訳長編の中では比較的読みやすい一作です。

◆『アルスラーン戦記』シリーズ 田中芳樹／作

2015年に荒川弘氏の漫画を原作にアニメ化されたことでも記憶に新しいシリーズです。2017年、遂に完結を迎えました。絶版となった角川文庫版は、KAPPA NOVEL版として図書館に所蔵していますのでご安心を！

◆『図書館の魔女』 高田大介／作

「図書館」と言えば……第45回メフィスト賞を受賞した際大いに話題になったこの作品。前半の設定部分は専門的でちょっと振り落とされそうになりますが、その山を越えた後の面白さは読書の醍醐味とも言えます。

◆『カラマーゾフの兄弟』 トルストイ／作

常に政治のにおいがするロシア文学ですが、ミステリーとしても面白く読める一作です。筆者は個人的に、次男のワーニャは眼鏡キャラだと踏んでいます。

◆『源氏物語』 紫式部／作

説明不要の大作です。寂聴版、円地版、最近では林望の謹訳版も出版されていますが、実は英訳された洋書としても所蔵しています。古典名作を英語で読むのも楽しいかも！

◆『十二国記』シリーズ 小野不由美／作

2020年、久しぶりに最新作が発表され話題になりました。全10タイトルのどこかにきっと推し国、推し王、推し麒麟が見つかるはず！



第4回

今日は何の日

2月23日

『ふろしきの日』

昨年7月1日から、レジ袋の有料化が始まって半年以上。エコバックを持ち歩くのもいいですが、1200年以上の歴史を誇るふろしきは、くり返し使え、さまざまなかたちのものを包むことができます。ふろしきの本で包み方を学ぶのも楽しいかもしれません。ちなみに日付は「つ(2)つ(2)み(3)=包み」の語呂合わせだそうです。



Chiratto
Vol.27

2021年2月-2021年3月号

特集1

ねこ

特集2

おうちで長編小説！

連載

今日は何の日

お知らせ

西東京市図書館からのお知らせ
FM西東京で紹介した本



ねこ

写真を見るだけでも癒される ねこたちの、
図鑑や小説、写真集などなど。ねこが主役の本をご紹介します。

『ネコのキモチ解剖図鑑－ネコに好かれる暮らし方ガイド－』

(服部幸著／エクスナレッジ／2016.1)
ネコの不思議な行動にはすべて理由がある。本書ではネコのしぐさ・表情から、してほしいこと・病気の兆候などを知ることができます。ネコの体に隠された秘密から、毎日の食生活・健康管理の方法、お気に入りの部屋づくりまで。イラストとともに解説。

『文豪たちが書いた「猫」の名作短編集』

(彩図社文芸部編纂／彩図社／2017.12)
一冊まるごと猫づくしの短編集。小泉八雲、谷崎潤一郎、宮沢賢治、梶井基次郎、萩原朔太郎、夏目漱石など。15人の文豪が書いた猫にまつわる短編小説・エッセイを収録したアンソロジー。

『図書館ねこデビューー町を幸せにしたトラねこの物語ー』

(ヴィッキー・マイロン著／早川書房／2008.10)
ある冬の朝、アメリカの小さな町の図書館で返却箱から救出された瀕死の子猫は、町の人々を癒し、やがて世界で知られる「図書館ねこ」となった。一生をとともに過ごした図書館司書が、その様子を愛情をこめて綴る。

『猫の扉－猫ショートショート傑作選－』

(江坂遊選／扶桑社／2020.2)
星新一、筒井康隆、小松左京、スレッサー、ブラウンといったショートショートの名作家から、ヘミングウェイら文豪の名作、有名童話、コミックまで、古今東西の猫にまつわる珠玉の掌編を収録する。

『ネコを撮る カラー新版』

(岩合光昭著／朝日新聞出版／2018.5)
ネコの写真で有名な岩合光昭氏による、究極のネコ写真術。撮影エピソードを織り交ぜながら、モデルネコの見分け方、上手に撮れるポイントなどを知ることができます。世界のネコのカラー写真も多数掲載。写真を見るだけでも癒される1冊です。

『岩合光昭の世界ネコさがし』

(岩合光昭著／クレヴィス／2018.3)
一見すると風景写真に見える写真も、良く見るとネコがいる。動物写真家・岩合光昭氏が世界各地の印象的な風景の中にネコを探しながら、自由に、心地よい場所ですつろぐネコたちの写真を集める。海外の風景を楽しみながら、街や自然に溶け込んでいるネコを探してみたいかがでしょうか。

西東京市図書館からのお知らせ 制限付き開館のご案内

当面利用できるコーナーに制限があります。また、ご来館にあたってはマスクの着用とできるだけ短時間でのご利用をお願いしています。詳しくはお電話または図書館ホームページでご確認ください。

F M西東京で紹介した本

『聖人祭事紀行 祈りと熱狂のヨーロッパ写真歳時記』

(若月伸一 八坂書房 2020.12)

欧州の地名人名の多くが由来する「聖人」にまつわる祭りは毎日のように各地で行われているそうです。ナポリの聖ジェナーロ祭では遺された聖人の血を使った占いがある、バレンシアの聖ヨセフ祭は「サン・ホセの火祭り」として名高いなど、39の祝祭事を豊富な写真とともに紹介しています。人々の様子や民族衣装が、その地域の歴史や文化への興味をそそる1冊。

『平安朝の事件簿』

(繁田 信一 文藝春秋 2020.10)

「枕草子」や「源氏物語」など王朝の栄華の影では、台頭し始めた武士たちが放火・強盗といった物騒な問題を起こしまくっていたとか。奇跡的に残された当時の検非違使の公文書を紐解き、「源平武者の曾祖父の曾祖父」達によって芽吹きつつあった『武者の世』を垣間見ます。『殴り合う貴族たち』『天皇たちの孤独』等の著作で王朝時代の各社会階層を描いてきた著者は、次に『お坊さんたちの平安京』に取り組むそうです。

発行：西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>